当期の概況について

当連結会計年度におけるわが国経済は、ロシア・ウクライナ情勢が長期化する中で緩やかな景気の持ち直しの動きがみられたものの、世界的なエネルギー価格の高騰による物価高やサプライチェーンの混乱、更に急激な円安や金利上昇などの影響により、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような事業環境の中、当社グループは、基本方針を「新市場（スタンダード市場）において持続的成長と企業価値向上を具現化する」とする第８次中期経営計画（オーベクスビジョン2024）の目標達成に向けてスタートし、既存事業の強化による事業拡大、持続的成長に向けた設備投資、グループ技術を結集した新製品の開発および新分野への展開などの基本戦略の実現に取り組んでおります。

その結果、売上高は5,315百万円（前期比3.1％減）、営業利益は623百万円（前期比11.8％減）、経常利益は639百万円（前期比12.1％減）、親会社株主に帰属する当期純利益は469百万円（前期比12.5％減）となりました。

売上高（連結） 5,315百万円（前期比3.1%減）	営業利益（連結） 623百万円（前期比11.8%減）
経常利益（連結） 639百万円（前期比12.1%減）	親会社株主に帰属する当期純利益 469百万円（前期比12.5%減）

セグメント別概況

テクノ製品事業

テクノ製品事業は、中国を含めたアジア地域の売上が好調に推移したものの、ヨーロッパ地域および国内売上が伸び悩んだ結果、売上高は3,894百万円（前期比4.4％減）、セグメント利益は831百万円（前期比6.2％減）となりました。セグメント利益率は21.4％となり、前期比で0.4ポイント減少しました。

売上高 3,894百万円（前期比4.4%減）

セグメント利益 831百万円（前期比6.2%減）

メディカル製品事業

メディカル製品事業は、長期化したコロナ禍の影響により営業活動に制約がかかる中、プロモーション活動および収益確保に注力しました。その結果、売上高は1,420百万円（前期比0.7％増）、セグメント利益は102百万円（前期比30.4％減）となりました。セグメント利益率は7.2％となり、前期比で3.2ポイント減少しました。

売上高 1,420百万円（前期比0.7%増）

セグメント利益 102百万円（前期比30.4%減）

次期の見通し

この先の我が国の経済は、ロシア・ウクライナ情勢の長期化、エネルギー関連や原材料費の高騰およびインフレによる景気の下振れリスクが増大し、先行きは不透明かつ不安定な状況が継続すると見込まれます。このような状況の中、当社グループは、グローバル市場におけるシェア拡大に向けて付加価値の高い製品の開発および生産の強化を推進し、積極的な販売活動を行ない、更なる企業価値の向上に努めてまいります。

2024年３月期の通期連結業績の見通しにつきましては、売上高5,400百万円（前期比1.6％増）、営業利益550百万円（前期比11.7％減）、経常利益530百万円（前期比17.1％減）、親会社株主に帰属する当期純利益390百万円（前期比16.9％減）を予想しています。

次期の配当につきましては、期末配当は１株当たり20円とさせていただく予定です。

年間配当（期末配当） 20円00銭

売上高（連結） 5,400百万円（前期比1.6%増）	営業利益（連結） 550百万円（前期比11.7%減）
経常利益（連結） 530百万円（前期比17.1%減）	親会社株主に帰属する当期純利益 390百万円（前期比16.9%減）

会社概要・株式の概況

会社概要（2023年3月31日現在）

商号	オーベクス株式会社 AuBEX CORPORATION
本店	東京都墨田区両国4-31-11
創立年月日	1892年（明治25年）12月12日
設立年月日	1893年（明治26年）12月29日
株式上場	東証スタンダード市場
資本金	19億3,983万円
主な事業内容	
テクノ製品	サインペン先、コスメチック用ペン先の製造販売
メディカル製品	医療機器の製造販売
その他	不動産賃貸

役員（2023年6月23日現在）

代表取締役社長	栗原　則義
取締役	木内　忠興
取締役	村上　弘成
取締役	作田　隆太郎
取締役	塚越　孝弘
社外取締役	石橋　健藏
社外取締役	中村　誠
常勤監査役	永田　稔
社外監査役	濵田　慶信
社外監査役	濱渦　裕彦

連結子会社（2023年3月31日現在）

オーベクステクノロジー株式会社
オーベクスメディカル株式会社
天津奥貝庫斯技研有限公司

株式の概況（2023年3月31日現在）

発行可能株式総数	8,000,000株
発行済株式総数	3,092,623株（自己株式12,666株を含む）
単元株式数	100株
株主数	1,137名

大株主の状況

株主名	持株数（株）	持株比率（%）
昭和化学工業株式会社	471,435	15.30
株式会社麻生	445,600	14.46
若築建設株式会社	423,209	13.74
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	303,260	9.84
オーベクス取引先持株会	104,200	3.38
株式会社みずほ銀行	95,432	3.09
株式会社アルビノ	64,500	2.09
三井住友信託銀行株式会社	62,700	2.03
オーベクス従業員持株会	58,633	1.90
大田昭彦	55,000	1.78

(注) 1. 持株比率は自己株式（12,666株）を控除して計算しております。
2. 株式会社日本カストディ銀行（信託E口）は、株式給付信託（J-ESOP）及び株式給付信託（BBT）における当社株式の再信託先です。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会　毎年3月31日 期末配当　毎年3月31日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
（電話照会先）	0120-782-031（フリーダイヤル） 取扱事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
公告の方法	当社のホームページに記載いたします。 https://www.aubex.co.jp/ （ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時は、日本経済新聞に公告いたします。）

・住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

買取制度　単元未満株式を当社に買取るよう請求できる制度です。

買増制度　単元未満株式を1単元（100株）にするために必要な数の株式を買増すことを当社に請求できる制度です。

・未払配当金の支払について
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

ホームページのご案内

当社のホームページでは最新のトピックスをはじめIR情報や財務情報など当社をご理解いただくため様々な情報を提供しています。

https://www.aubex.co.jp/

オーベクス　検索

UD FONT　VEGETABLE OIL INK

130th ANNIVERSARY
人にやさしい未来をつくる

オーベクス株式会社

証券コード 3583

第138期　報告書

2022年4月1日 ▶ 2023年3月31日

AuBEX

株主の皆様へ

代表取締役社長
栗原 則義

株主の皆様におかれましては、平素より温かいご支援と格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

2023年３月期の連結業績は、メディカル製品事業の売上は前年を上回ったものの、テクノ製品事業の国内および欧州地域の売上が下振れし、売上高は前期比3.1%減の53億15百万円、営業利益は原材料費や物流コストなどの増加により、前期比11.8%減の6億23百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比12.5%減の4億69百万円と減収減益となりました。

今後の経済環境の見通しにつきましては、ロシア・ウクライナ情勢の長期化に伴い、米中の対立や北朝鮮問題などの地政学的リスクの高まりが不安視され、またエネルギー関連の価格高騰や供給不足、更に世界的なインフレの進行などが加わり、景気の先行きは不透明かつ不安定な状況が続くものと思われます。また製造業を取り巻く環境は少子高齢化による人手不足や原材料価格の高騰によるコストアップなどの影響が見込まれ、より厳しくなると思われます。

このような経営環境に対応するため、昨年４月より、第８次中期経営計画（2022年度～2024年度）をスタートさせております。この中期経営計画では、「新市場（スタンダード市場）において持続的成長と企業価値向上を具現化する」を基本方針とし、「Change + Update “チェンジ プラス アップデート”」をスローガンに掲げ、サステナブルな経営基盤の確立と社会に支持されるカンパニーの実現に向けて、全社一丸となって取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申しあげます。

2023年６月

経営理念

真心をこめて、暮らしに欠かせない文化と科学を提案することにより、
豊かな社会づくりに貢献できる企業を目指します。

創業者、渋沢栄一（渋沢史料館所蔵）

人と社会に正しい貢献を

当社の創業者である渋沢栄一は、著書である『論語と算盤』の中で「富を成す根源は何かといえば、仁義道徳、正しい道理の富でなければ、その富は完全に永続することができぬ。」と述べています。
その理念を受け継ぐ当社は、企業の存在価値を「どんなに技術が進歩し、さらに高度な時代になろうとも、人と社会に対する正しい貢献の在り方」と考えています。

いつの時代も、可能性をあきらめず、まっすぐに

当社は、明治・大正・昭和・平成と社歴を積み重ねてきました。その間、戦争、度重なる恐慌、大震災、戦火による全工場の焼失、中折帽子の斜陽化、石油危機、バブル経済崩壊など幾多の試練に直面してきましたが、先人たちは、誠実さと不屈の精神で活路を切り開いてきました。この誠実さと不屈の精神は、私たちの誇りであり、かけがえのない財産として受け継がれています。

東京帽子株式会社柳島分工場
（渋沢史料館所蔵）

「より役立つもの、より優れたもの」を

当社は、豊かな社会づくりに貢献するため、「より役立つもの、より優れたもの」を常に追求しています。これらを実現するためには、アイデアを生み出す「企画開発」、それを実用化する「技術開発」、安定した製品を生み出す「生産技術」、より品質を高める「品質管理」のどれひとつをとっても欠かせないものであると考えています。「より役立つもの、より優れたもの」を生み出すために長年受け継がれてきた誠実さと不屈の精神で日々モノづくりに取り組んでいます。

モノづくりを通じて拡がる未来へ

当社の社名であるAuBEX（オーベクス）は、黎明、曙を意味するフランス語の“AUBE”と可能性、未来の意味合いを持つ“X”とからなる合成語であり、「新しい可能性への曙」「拡がる未来」を意味しています。豊かな社会づくりに貢献する企業を目指し、これからも誠実さと不屈の精神をもって、モノづくりを通じて「人に想いを伝える、人の想いに応える」企業として、その未来を拡げていきます。

トピックス

テクノ製品事業

サステナブルな社会の実現に向けて

テクノ製品事業では、リサイクル素材を原材料としたペン先を開発し、販売を開始しました。

消費者から回収した製品を再生資源化（ポストコンシューマーリサイクル：PCR）した材料を使用することで石油資源の使用量低減と廃棄物低減の両面で環境課題の解決に貢献することが出来ます。

環境に配慮した筆記具用ペン先、コスメチック用チップとしてお客様に提供しており、大変ご好評をいただいております。

国内で開催される化粧品産業技術展「CITE JAPAN」にも出品し、積極的な拡販に努めております。

更なる環境負荷低減のため、植物由来の原料を使用したペン先や関連商材の開発にも取り組んでおります。引き続き、環境に配慮した製品開発を推進し、サステナブルな社会の実現に貢献してまいります。

メディカル製品事業

製品開発を通じて
豊かな社会づくりに貢献します

メディカル製品事業では、「ベセルフューザー（化学療法専用typeT）」が、2016年の発売開始以来、化学療法領域市場からの高い評価と支持をいただき、７年目にして市場シェアNo.1※1の地位を競い合うまでになりました。これは特許取得の扁平に膨らむ特殊なフラットバルーンを使用した、シャツの胸ポケットにも入るスリムな形状による携帯性とデザイン性、当社独自技術の流量制御チューブを使用した優れた流量特性が、ユーザーの皆様から高い評価をいただいているからに他なりません。

また、国内における無痛分娩のニーズが高まっている（無痛分娩実施率8.6%※2）中、積極的な学会展示と当社広報を通じたブランディングを行うことで、産科麻酔向け製品の拡販を更に注力してまいります。

医療機器市場のシェア拡大を目指しながら、引き続き製品開発を通じて豊かな社会づくりに貢献できる企業を目指してまいります。

※１：当社調査による
※２：出典：厚生労働省　わが国の無痛分娩の実態について（2020年度医療施設（静態）調査の結果から）

連結財務諸表

連結貸借対照表（単位：百万円）

科　目	当期末 2023年 3月31日現在
資産の部	
流動資産	5,925
固定資産	3,402
有形固定資産	3,120
無形固定資産	24
投資その他の資産	257
資産合計	9,328

科　目	当期末 2023年 3月31日現在
負債の部	
流動負債	1,383
固定負債	2,111
負債合計	3,494
純資産の部	
株主資本	5,687
資本金	1,939
資本剰余金	518
利益剰余金	3,435
自己株式	△206
その他の包括利益累計額	146
その他有価証券評価差額金	51
土地再評価差額金	27
為替換算調整勘定	66
純資産合計	5,833
負債・純資産合計	9,328

連結損益計算書（単位：百万円）

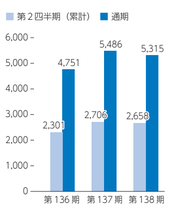
科　目	当期 自2022年4月1日 至2023年3月31日
売上高	5,315
売上原価	3,435
売上総利益	1,880
販売費及び一般管理費	1,256
営業利益	623
営業外収益	32
営業外費用	16
経常利益	639
特別利益	64
特別損失	22
税金等調整前当期純利益	680
法人税、住民税及び事業税	150
法人税等調整額	61
当期純利益	469
親会社株主に帰属する当期純利益	469

連結キャッシュ・フロー計算書（単位：百万円）

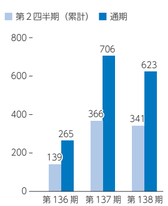
科　目	当期 自2022年4月1日 至2023年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	338
投資活動によるキャッシュ・フロー	△183
財務活動によるキャッシュ・フロー	△205
現金及び現金同等物の増減額	△47
現金及び現金同等物の期末残高	2,388

業績の推移

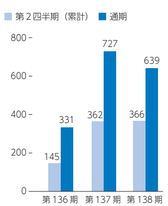
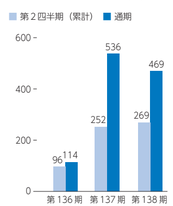
売上高（単位：百万円）



営業利益（単位：百万円）



経常利益（単位：百万円）



親会社株主に帰属する当期純利益（単位：百万円）